



# 四條の風学園 縄手小学校だより 家

— No.7 —

東大阪市立縄手小学校 校長 大山 博章

10月 神無月を迎えました。毎年この時期になると、キンモクセイの（金木犀）の花が咲くのを心待ちにしています。でも、風が運んでくる香りに気がついて、初めて花が咲いたことを知るということを繰り返しています。キンモクセイの香りに気がつきながら「ああ、今年も秋が来たなと感じています。」

さて、10月2日（火）は、「運動会」でした。本来は、9月30日の日曜日が、「運動会」だったのですが、あいにくの台風で、実施することができずに延期になってしまいました。それでも、平日にもかかわらず、多くの保護者の皆様の観覧を賜り、子どもたちもひじょうに喜んだことと思います。まことにありがとうございました。

それぞれの、児童が個人種目では、一人一人の持っている力を精一杯発揮し、頑張りました。また、団体競技では、低・中・高学年がそれぞれ工夫をこらして様々な種目を盛り上げ、リレーも、最後の走者まで、順位に関係なく最後まで走り抜けていました。団体演技では、低中高学年ともに雨に悩まされ、運動場での練習の少なさの中で、低学年の、「笑一笑 ～シャオイーシャオ～」では、子どもたちのかわいらしい動きの中の一生懸命さが胸を動かされました。中学年の、「やってみよう～74人力～」では、団体行動のきれいさの中に、様々な色の旗による美しさが、ひじょうによかったです。高学年の、「ここから」は、5年生・6年生が汗をいっぱいかき、歯を食いしばって練習し、本番で一生懸命にがんばる表現活動です。以前の組体操のように、危険と思われる表現はなくなって、物足りなく感じられる保護者等の方もおられるかもしれませんが、その分、全体の協調性や柔らかさなどを感じていただけたのではないかと思います。最後には、全員が満足した顔で演技を終えていたのが、なによりだと思いました。

今年は、「白組」が優勝しました。しかし、大切なことは、勝っても負けても全力を尽くしたかどうかです。「がんばることは素晴らしいことだ」「負けても、最後までがんばる姿はカッコいい」そんな気持ちが運動会で持てたらと思っています。

## 【9月 運動会】



「笑一笑 ～シャオイーシャオ～」



「やってみよう～74人力～」



「ここから」



PTA種目「ドタバタ 玉入れ」